

林野庁 近畿中国森林管理局の治山

<令和7年度版>



林野庁 近畿中国森林管理局
計画保全部 治山課

目 次

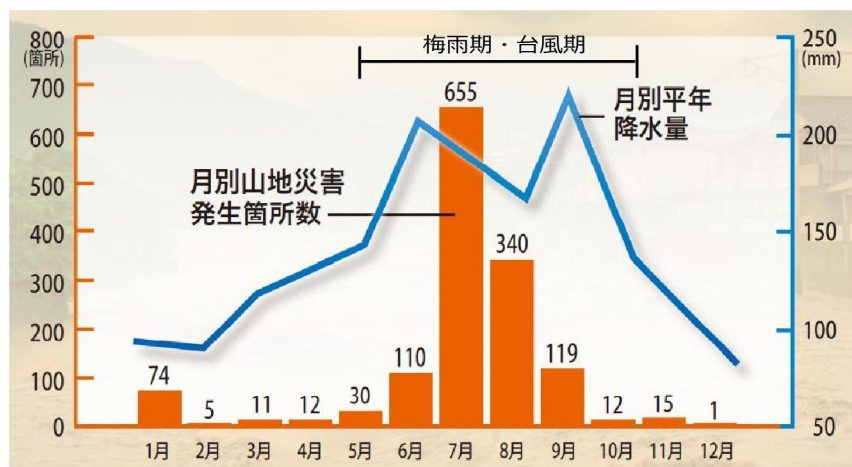
■ 近年の山地災害の発生状況	1
■ 治山事業の目的と効果	2
■ 国有林における治山対策	
①-1 荒廃山地の治山対策（災害復旧等事業、国有林治山事業）	3
①-2 荒廃山地の治山対策（大山の治山対策、風倒木被害地の再生）	4
② 都市近郊部における治山対策／海岸防災林の整備・保全	5
■ 令和6年能登半島地震からの復旧に向けた取組	6
■ 民有林における治山対策	
① 奥能登地区民有林直轄治山事業事業	7
② 手取川地区民有林直轄治山事業	8
③ 十津川地区民有林直轄治山事業	9
④ 紀伊田辺地区民有林直轄治山事業	10
⑤ 東広島地区民有林直轄治山事業	11
■ 関係機関と連携した治山対策の推進／生態系を活用した防災・減災（Eco-DRR）	12
■ 森林土木工事におけるICTの活用	13
■ 災害発生時の初動対応・民有林支援	14
■ 管内の歴史ある治山事業地	15
■ リンク集	16

■近年の山地災害の発生状況

- 日本では、毎年約1,400箇所（R2～R6の5ヵ年平均）の山地災害が発生し、多くの被害をもたらしています。
- 近年は、局所的な集中豪雨が頻発する傾向にあり、これまでにない激甚な災害が発生しやすい状況で、近畿中国森林管理局管内においても、令和6年能登半島地震（R6.1）や平成30年7月豪雨災害（H30.7）などにより、激甚な山地災害が発生しています。

毎年約1,400箇所の山地災害が発生！！

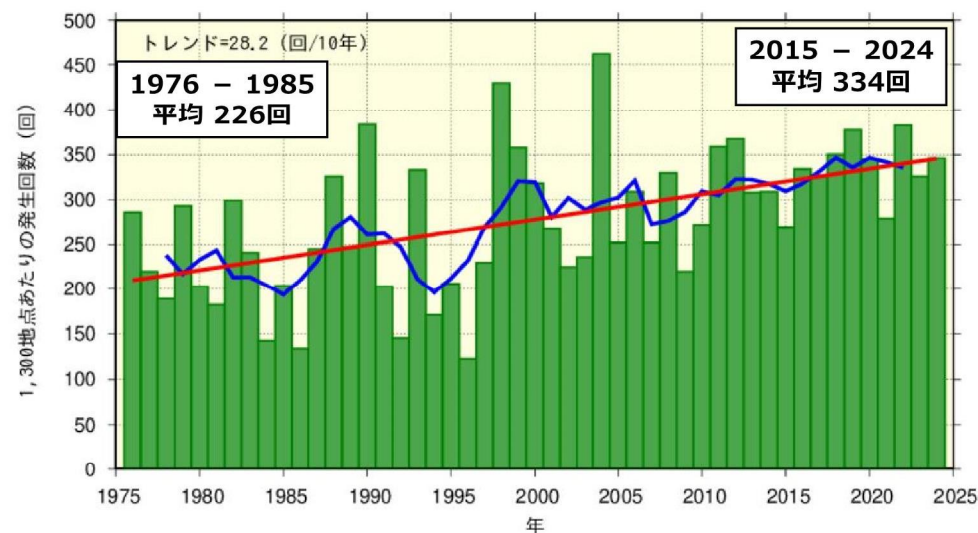
日本の年間降水量は約1,700ミリで、世界平均の約2倍と極めて雨の多い国です。特に梅雨期や台風時は、局所的集中豪雨により、各地に大きな災害をもたらします。また、冬は大量の雪が降り、雪解け期は河川の増水やなだれの危険も高くなります。



※山地災害発生箇所数（全国）は、令和2年～令和6年の平均（林野庁 治山課）
月別平均降水量は、埋科年表（H30）より作成（1981年から2010年までの平均値）

局所的な集中豪雨の増加！！

1時間降水量50mm以上の年間観測回数



※全国のアメダス地点で1時間降水量が50mm以上となった年間観測回数（1,300地点あたりの回数に換算）
赤線は5年移動平均値

【データ：気象庁HPより】

管内における大規模災害

平成30年7月豪雨災（H30.7）



【広島県東広島市（民有林）】

上秋津 斜面崩壊（R1.7）



【和歌山県田辺市（民有林）】

令和6年能登半島地震（R6.1）



【石川県輪島市（民有林）】

奥能登豪雨（R6.9）



【石川県珠洲市（民有林）】

■ 治山事業の目的と効果

- 治山事業は、森林の維持造成を通じて山地災害から国民の生命・財産を保全するとともに、水源のかん養、生活環境の保全・形成などを図る重要な国土保全政策の一つです。
- 治山事業の主な工法としては、土留工や植栽工等により山腹斜面の安定化を図る山腹工と、溪岸・溪床の侵食防止や山脚の固定等を図り、森林の生育基盤を確保するため治山ダム等を設置する溪間工があります。

山 腹 工

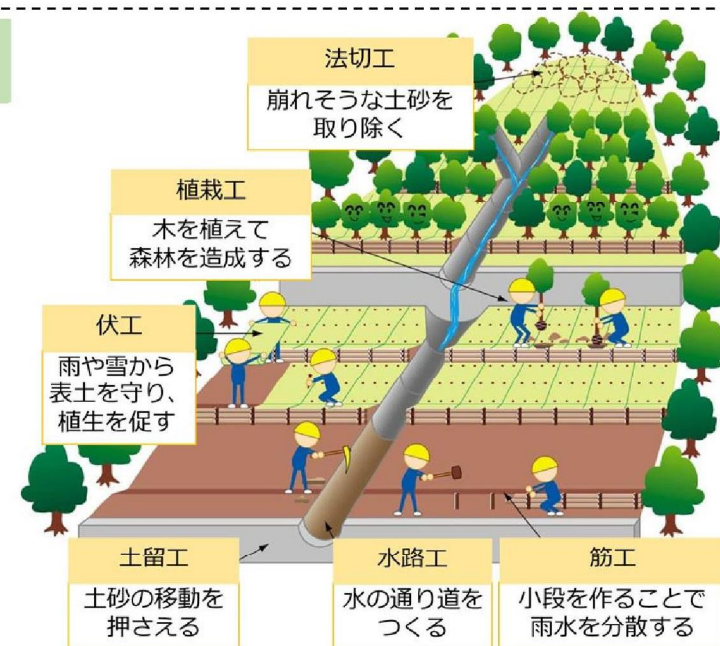
着工前



施工後



▲【山腹工施工事例】島根県邑智郡美郷町 曲山国有林（島根森林管理署）



荒廃した溪流



治山ダムにより安定化



ダム設置後：

勾配が緩やかになり、侵食が抑えられる



勾配が急で流速が早く、侵食が進む

▲溪流を横から見た図

溪 間 工

着工前



施工後



▲【溪間工施工事例】福井県三方上中郡若狭町 河内国有林（福井森林管理署）

■ 国有林における治山対策 ①-1 荒廃山地の治山対策

国有林野内で発生した山地災害からの早期復旧のため、**災害復旧等事業、国有林治山事業**を近畿中国森林管理局管内において実施しています。

三谷災害復旧工事

着手前



施工後



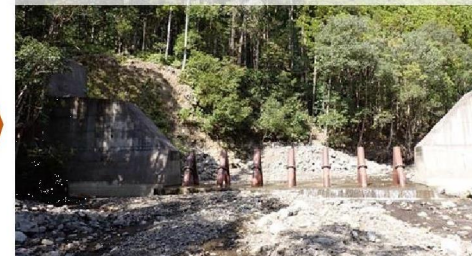
▲島根森林管理署管内 令和3年8月豪雨災害 令和4年度完成

鍛冶屋又国有林災害対策作業

着手前



実施後



▲三重森林管理署管内 令和5年7月豪雨災害 令和5年度実施(土石、流木除去)

大谷山山腹工事

着手前



施工後



▲岡山森林管理署管内 平成30年7月豪雨災害 令和6年度完成

犬岩山（A渓流）溪間工事

着手前



実施後



▲広島北部森林管理署管内 令和3年8月豪雨災害 令和6年度完成

阿舎利山山腹工事

着手前



施工後



▲兵庫森林管理署管内 平成30年7月豪雨災害 令和6年度完成

貴船山山腹工事

着手前



実施後



▲京都大阪森林管理事務所管内 令和6年6月災害 令和6年度実施

■ 国有林における治山対策 ①-2 荒廃山地の治山対策

「大山」の治山対策

大山では地形・地質条件等により、山頂付近からの土砂生産が絶えない状況です。

このため、大正6年（1917）から治山事業に着手し、以降、100年以上にわたる技術の継承により、現在まで治山事業を継続して実施しています。



【北壁】



【南壁】

▲【鳥取県大山町 大山国有林：山頂直下の荒廃斜面】（鳥取森林管理署）



▲【大山国有林（南壁：一ノ沢）
昭和40年代の治山工事】



▲【大山国有林（北壁：元谷）
溪間工 施工状況】



▲【大山国有林（南壁：二ノ沢）
溪間工 施工状況】



▲【大山国有林（南壁：三ノ沢）
溪間工 施工状況】

風倒木被害地の再生

平成30年台風21号により、京都市の貴船山及び鞍馬山国有林で発生した風倒木被害について、「森林再生全体計画（貴船・鞍馬）」に基づき、優先度の高い地域から斜面安定対策を進め、地域の安全・安心を確保しつつ、観光産業を軸とした地域振興に配慮した森林再生に取り組んでいます。

着手前：H30撮影



施工後

着手直後：R3撮影



着手直後：R3撮影



施工1年後



施工1年後



▲【京都市京都市 貴船山国有林：斜面安定対策工施工(経過)状況】
（京都大阪森林管理事務所）

都市近郊部における治山対策

人家等の保全対象と隣接した都市近郊部の国有林において、荒廃斜面の復旧や崩壊、落石等のおそれのある斜面での予防的な治山事業に取り組んでいます。



着手前：R4撮影



施工後：R5撮影

▲【滋賀県大津市 関寺国有林：山腹工 施工状況】
(滋賀森林管理署)



R5撮影

▲【兵庫県芦屋市 城山国有林：山腹工 施工状況】
(兵庫森林管理署)

海岸防災林の整備・保全

地域ボランティアとの協働等による海岸防災林の整備・保全活動を実施しています。また、塩害等により被害を受けた枯損木の処理や抵抗性クロマツの植栽、防風垣設置などに取り組んでいます。



林帯前縁部の枯損被害木

御浜町と協働の
クロマツ植栽状況



クロマツ植栽・
防風垣の設置



▲【三重県南牟婁郡御浜町 七里御浜国有林】 (三重森林管理署)

防風垣の設置



地元中学生による松葉かき作業



▲【福井県敦賀市 松原国有林】 (福井森林管理署)

■ 令和 6 年能登半島地震・奥能登豪雨からの復旧に向けた取組

- 令和 6 年 1 月 1 日に発生した令和 6 年能登半島地震の影響により、奥能登地域を中心に大規模な山腹崩壊等が広域にわたり多数確認され、9 月 20 日からの奥能登豪雨により大規模な土砂流出が確認されました。
- 特に被害が甚大な輪島市内及び珠洲市内の山腹崩壊地等について、石川県知事からの要請を受け、大規模崩壊地対策や被災した治山施設の復旧など被災地の早期復興に向けて、国直轄による災害復旧等事業に着手しました。

直轄災害復旧等事業（応急）の概要

【実施機関】近畿中国森林管理局 石川森林管理署

【実施箇所】石川県 珠洲市 大谷区域 2 箇所
 南方区域 1 箇所
 輪島市 鳳至区域 3 箇所
 興徳寺区域 2 箇所
 大久保区域 1 箇所



荒廃状況



▲ 【珠洲市 大谷区域】



▲ 【輪島市 大久保区域】

令和 6 年対応状況

ヘリコプターによる現地調査（1月2日）※関連ページ p 14



治山技術者の派遣・現地調査 （1月15日～3月8日、9月30～10月4日）



ドローンを活用した被災状況調査

治山施設上で止まった巨石

奥能登地区 山地災害復旧対策室 開所式（4月12日）



対策室長
事業概要説明



山地災害緊急展開チーム

専門家による現地調査



看板設置

■ 民有林における治山対策 ① 奥能登地区民有林直轄治山事業

令和6年能登半島地震・奥能登豪雨における山地災害において、石川県から要望を受けた箇所について直轄災害復旧事業（応急対策）を実施しています。令和6年4月1日には奥能登地区山地災害復旧対策室を設置し、「**民有林直轄治山事業**」を石川県輪島市、珠洲市で実施しています。

■ 奥能登地区民有林直轄治山事業の概要

【実施機関】

近畿中国森林管理局 石川森林管理署

【実施箇所】

石川県輪島市、珠洲市（令和7年度予定：6区域）

【事業計画期間】

令和6年度～令和15年度

【全体計画額・進捗率】

88.1億円・約2%（令和6年度末時点）

【荒廃状況】



【輪島市大久保：崩壊規模40ha以上】



【珠洲市大谷：民家に被害】



【輪島市鳳至：神社に被害】



■ 応急対策の実施状況



▲【輪島市 興徳寺：倒木撤去、土砂撤去、大型土のう設置 施工状況】



▲【珠洲市 南方：倒木撤去、大型土のう設置 施工状況】



▲【珠洲市 大谷町：土砂撤去、大型円筒金網設置 施工状況】



■ 民有林における治山対策 ② 手取川地区民有林直轄治山事業

大規模崩壊地の早期復旧のため、石川県からの要請を受け、国が民有林において治山対策を実施する「民有林直轄治山事業」を石川県白山市で実施しています。

手取川地区民有林直轄治山事業の概要

【実施機関】

近畿中国森林管理局 石川森林管理署

【実施箇所】

石川県白山市 (令和7年度予定：1区域(上流部))

【事業計画期間】

昭和56年度～令和11年度

【全体計画額・進捗率】

130.8億円・約89% (令和6年度末時点)

石川県



着手前の荒廃状況

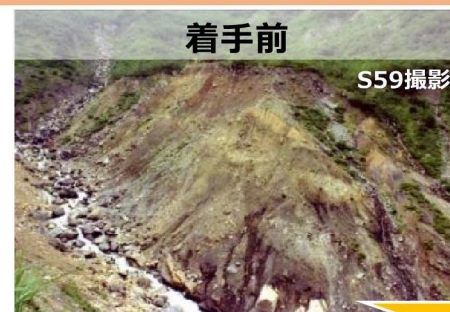


▲【増水時の状況】(湯の谷上流部)



▲【山腹荒廃地】(湯の谷上流部)

復旧対策の状況



着手前

S59撮影



着手直後

H10撮影



施工後

H28撮影

▲【湯の谷上流部：溪間工（A谷） 施工状況】



着手前

S61撮影



施工後

R5撮影

▲【湯の谷中流部：山腹工（ホ-22） 施工状況】

■ 民有林における治山対策 ③ 十津川地区民有林直轄治山事業

紀伊半島大水害(H23.9)の影響等により発生した大規模崩壊地の早期復旧のため、奈良県からの要請を受け、国が民有林において治山対策を実施する「**民有林直轄治山事業**」を奈良県吉野郡十津川村、天川村、五條市大塔町で実施しています。

十津川地区民有林直轄治山事業の概要

【実施機関】

近畿中国森林管理局 奈良森林管理事務所

【実施箇所】

奈良県十津川村、天川村、五條市
(令和7年度予定：計8区域8工区)

【事業計画期間】

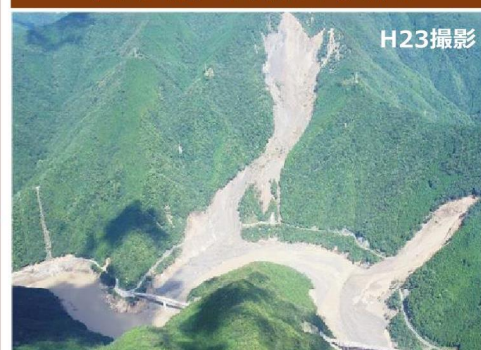
昭和42年度～令和8年度

【全体計画額・進捗率】

290.3億円・約85%（令和6年度末時点）



着手前の荒廃状況



▲【大規模崩壊地】
(十津川村 宇宮原区域 濁谷工区)



▲【大規模崩壊地】
(十津川村 神納川区域 五百瀬工区)

復旧対策の状況



▲【十津川村 神納川区域 五百瀬工区：溪間工 施工状況】



▲【十津川村 野尻区域 野尻工区：溪間工 施工状況】



▲【天川村 天川区域 坪内工区：山腹工 施工状況】



■ 民有林における治山対策 ④ 紀伊田辺地区民有林直轄治山事業

紀伊半島大水害(H23.9)の影響等により発生した大規模崩壊地の早期復旧のため、和歌山県からの要請を受け、国が民有林において治山対策を実施する「**民有林直轄治山事業**」を和歌山県田辺市で実施しています。

紀伊田辺地区民有林直轄治山事業の概要

【実施機関】

近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署

【実施箇所】

和歌山県田辺市（令和7年度予定：4区域）

【事業計画期間】

平成24年度～令和9年度

【全体計画額・進捗率】

159.5億円・約71%（令和6年度末時点）



着手前の荒廃状況



▲【大規模崩壊地】
（上平治川区域）



▲【R1.7被災の斜面崩壊地】
（上秋津区域）

復旧対策の状況

ロープ伏工(H30完成)



斜面補強ネット工
(R4完成)



ボーリング暗きょ工
(H30完成)



1号谷止工(R2完成)



9号集水井工(R5完成)



4号集水井工(R3完成)

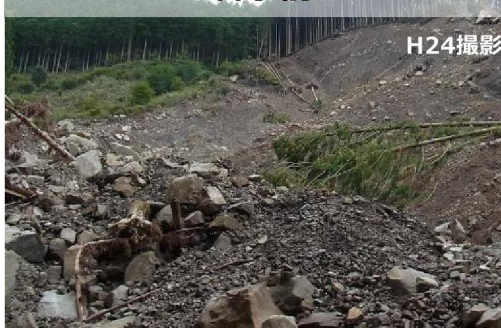


落石防護柵工(R4完成)

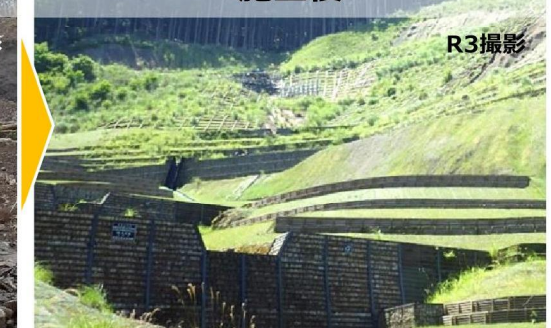


▲【上秋津区域：施工状況】

着手前



施工後



▲【本田垣内区域：山腹工・溪間工 施工状況】

■ 民有林における治山対策 ⑤ 東広島地区民有林直轄治山事業

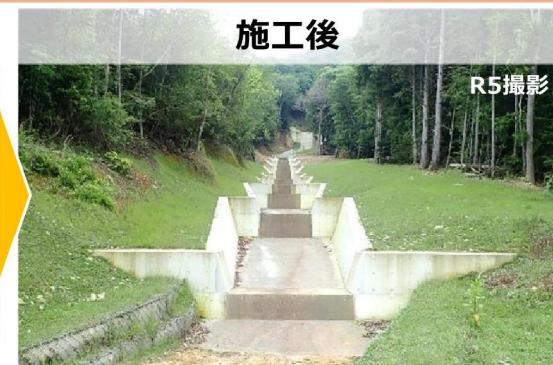
平成30年7月豪雨の影響により発生した大規模崩壊地の早期復旧のため、広島県からの要請を受け、国が民有林において治山対策を実施する「**民有林直轄治山事業**」を広島県東広島市で実施しています。

東広島地区民有林直轄治山事業の概要

【実施機関】近畿中国森林管理局 広島森林管理署
【実施箇所】広島県東広島市(令和7年度予定：3区域)
【事業計画期間】令和元年度～令和10年度
【全体計画額・進捗率】98.2億円・約71%(令和6年度末時点)



復旧対策の状況



▲【高屋区域：溪間工 施工状況】

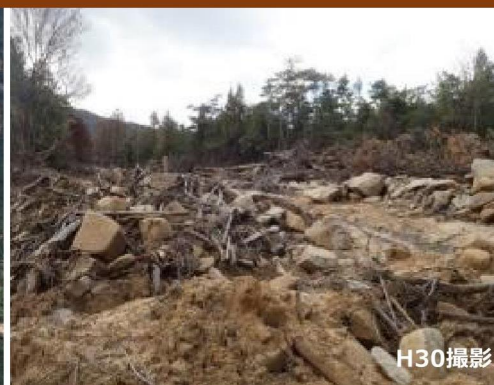


▲【八本松区域：溪間工 施工状況】

着手前の荒廃状況



▲【大規模崩壊地】
(黒瀬区域)



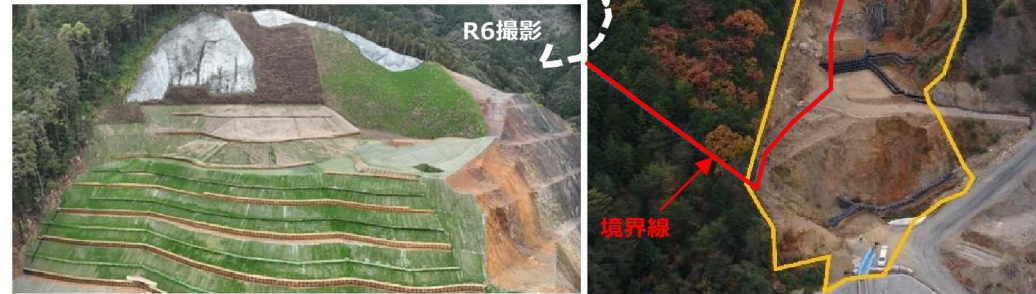
▲【溪流荒廃地】
(八本松区域)



▲【黒瀬区域：山腹工 施工状況】

民有林との連携

平成30年7月豪雨の影響により、山口県岩国市では国有林境界線（赤線）をまたぐ形で約3.2haの大規模な山腹崩壊が発生しました。被災直後から民有林を管轄する山口県と調整を行い、民国連携した復旧工事に取り組んでいます。



▲【山口県岩国市 古屋国有林】（山口森林管理事務所）

各種会議や現地視察を含む意見交換会等を通じて、管内各府県の治山担当職員と日ごろから交流し、連携強化、事業担当者の技術力向上、若手職員の育成等に取り組んでいます。



▲治山事業意見交換会（石川県）



▲合同勉強会（岡山森林管理署管内）



▲治山事業連絡調整会議（広島県）

流域治水との連携

「流域治水プロジェクト」と連携し、治山施設の設置や保安林の整備による防災・減災対策を推進します。特に、治山事業と砂防事業の連携を一層推進し、技術交流会の開催や各事業の計画共有等を通じた、相互の事業の効果的かつ効率的な実施に向けて取り組みます。



▲国土交通省（砂防）・地元自治体との技術交流会（京都大阪森林管理事務所管内）



▲国土交通省（砂防）・地元自治体との技術交流会（広島・広島北部森林管理署管内）

生態系を活用した防災・減災（Eco-DRR）

治山対策における木材利用推進や海岸防災林造成（p5参照）などを通じた森林の機能の維持・向上により、森林生態系の有する防災・減災機能を活かしたEco-DRRの取り組みを推進します。



▲【和歌山県田辺市 公門谷国有林】（和歌山森林管理署）



▲【京都府綴喜郡 片原山国有林】（京都大阪森林管理事務所）



▲【広島県安芸高田市 高屋平山国有林】（広島北部森林管理署）

■ 森林土木工事におけるICTの活用

近年の建設業界等における労働力不足が課題となる中、森林土木工事においても省力化や効率性の向上が必要となっています。このため、ウェアラブルカメラ等を用いた映像と音声の双方向通信により、工事進捗状況の確認や材料検査、立会等を効率的に行う「遠隔臨場」を積極的に活用しています。また、山間奥地などの通信不感地帯（携帯通話圏外）においても低軌道衛星を利用した遠隔臨場や大規模災害が発生した場合を想定したUAVによる調査動画のリアルタイム配信試験等を行っています。また、UAVによる被災状況調査やICT建設機械の活用など、森林土木事業におけるICT化を積極的に推進します。

ウェアラブルカメラ等を用いた遠隔臨場の実施



▲【実施状況】（奈良森林管理事務所管内）

UAVによる被災状況等調査



▲【実施状況】（岡山森林管理署管内）

ICT建設機械による工事施工



▲測量に使用した
UAVレーザー測量機器

▲山腹斜面の3次元設計データ
(暖色系は盛土部、寒色系は切土部)



▲ICT建機による掘削作業状況

▲ICT建機内のモニター画像

(山口森林管理事務所管内) (バケット位置確認)

低軌道衛星を利用した遠隔臨場及び現地検討会開催



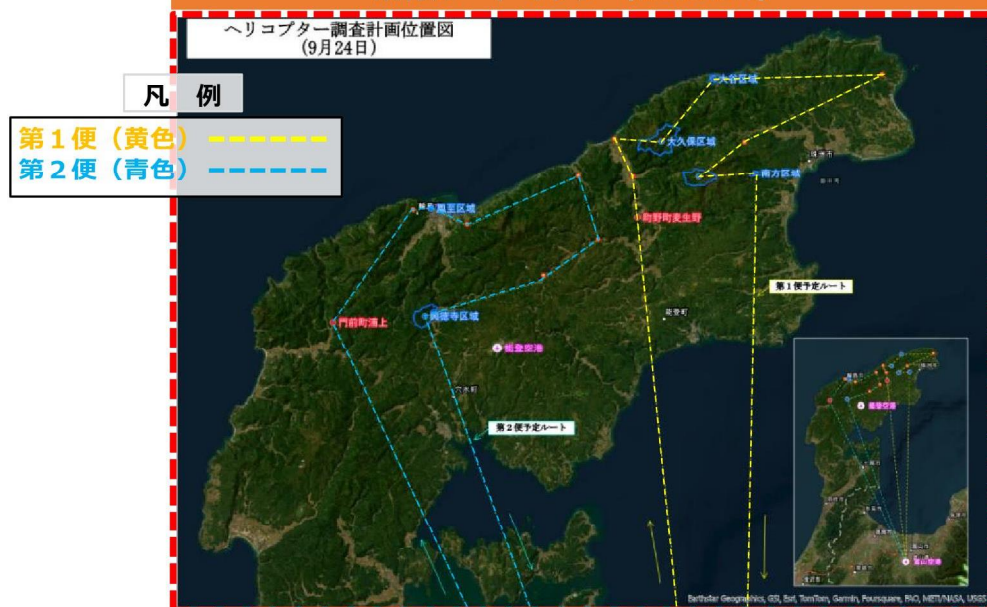
▲【実施状況】（奈良森林管理事務所管内）

■ 災害発生時の初動対応・民有林支援

山地災害発生時には、森林管理局・署等の職員がヘリコプターやUAVによる被災状況調査（p13参照）をはじめ、地元自治体の要請に応じて有識者や山地災害対策緊急展開チームの派遣等、民有林の被災状況の確認や復旧に向けた技術的支援を行います。

また、災害調査にあたっては、撮影写真及び撮影場所の情報を関係者が速やかに共有できる「山地災害調査アプリ」を活用して、迅速な被害状況の把握と地元自治体への情報提供に努めます。

飛行ルートマップ（R6.9.24）



調査データの確認状況（森林管理局）



地元自治体と合同でフライト前
打合せ実施状況



※山地災害調査アプリを活用し現在の位置及び
調査箇所を確認



スマートフォンで撮影



■管内の歴史ある治山事業地

- 近畿中国森林管理局管内では、脆弱な地質や建築用、燃料用として古くから行われた過度な森林伐採等により、森林の荒廃、裸地化が進んだ時代があり、当時は大雨等の際に山地災害を引き起こし、下流地域への被害が絶えない状態がみられました。
- このような背景を受け、管内各地で治山対策が進められたことにより、現在では安定した森林へと遷移しつつあります。

六甲山の治山（兵庫県神戸市、芦屋市）

昭和25年(芦屋市)【荒廃状況】

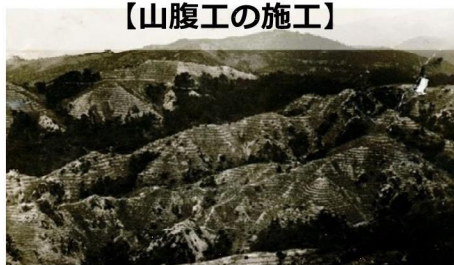


昭和初期の六甲山地には、今では想像できないような「はげ山」が存在していましたが、**民有林、国有林で山腹工等の治山事業**を実施し、緑豊かな森林へと蘇りました。

現在の姿



【山腹工の施工】



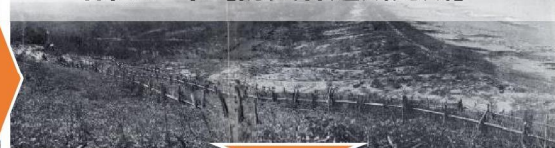
加賀海岸国有林の治山（石川県加賀市）

火災、伐採などで森林が消失したことにより、強風にともなう人家等への飛砂被害が発生していました。石川県からの要請を受け、**明治44年に防災林造成事業に着手**し、クロマツ林からなる海岸林を造成しました。

昭和43年【砂漠状況】



昭和12年【防災林造成完成】



現在の姿



大山の治山（鳥取県大山町）

大正6年(1917年)に治山事業に着手。

左写真の大の沢では、崩壊地の脚部に階段状に治山施設を設置し、土砂の固定を図りました。その結果、現在は森林への遷移が進行しています。

平成12年【荒廃状況】

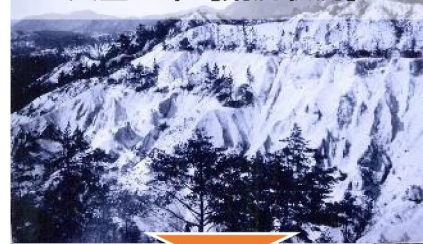


現在の姿



田上山 一丈野国有林の治山（滋賀県大津市）

大正2年【荒廃状況】



火災、伐採などで森林が消失し、山腹崩壊等による琵琶湖への土砂流出が続いていました。このため、**大正2年に治山事業に着手**しました。

現在は、ハイキング等に利用され、市民の憩いの場となっています。

現在の姿



大正6年【山腹工の施工】



当局の治山事業についてもっと知りたい方は、こちらぜひご覧ください！

近畿中国森林管理局 治山課 HP

もりをまもる Search



こちらからどうぞ！
治山課HP



令和6年能登半島地震・奥能登豪雨関連

能登半島地震 近畿中国 Search



こちらからどうぞ！
能登半島地震・奥能登豪雨関連HP



治山事業のPR動画を作成しました！

YouTube もりをまもる Search



YouTubeにて
公開中！



こちらからどうぞ！
治山事業PR動画

